

# はばたけ 鳥羽人

Vol. 4



鳥羽市能楽保存会の  
若き後継者  
下村優太くん（一丁目）  
城山志都さん（二丁目）

二人とも狂言が大好き！  
ずっと続けて古典芸能の良さを伝えたい

優太君と志都さんは、現在

鳥羽小学校の3年生。鳥羽市能楽保存会の最年少会員です。舞台では、息の合ったのびのびとした狂言を演じ、これからの活躍が期待されています。

狂言を始めたきっかけは？

二人 小1のとき、保存会の人に勧められてやってみようと思いました。

お稽古は楽しいですか？

優太 練習は厳しいけど、本番は楽しいです。

志都 台詞や動作を覚えるのは難しいけど、先生はいつも優しく教えてくれます。

どれぐらい練習するの？

二人 週1〜2回、1時間半ぐらいかな。学校の帰りに文化会館の楽屋で練習します。

台詞はどうやって覚えるの？

二人 CDを聞きながら、大体1か月ぐらいで覚えます。

練習や本番で、いつも気を付けていることは？

志都 大きな声ではっきりなめらかに台詞を言うことです。

優太 それと、足の運び方とか動作にも気を付けます。

舞台に立つとどんな気持ち？

二人 緊張するけど、台詞を言い始めるとほぐれます。お客さんが笑ってくれたときが一番うれしいです。

## Close-up クローズアップ

あなたも登場してください。

【連絡先】総務課秘書広報係 ☎ 1114

「はばたけ鳥羽人」では、地域で活躍されているかたを、「フレイフレーとばっ子」では、市内のスポーツ少年団で頑張っているこどもたちを紹介します。



一球入魂！全員野球

鳥羽第一野球スポーツ少年団

## フレイフレーとばっ子

Vol.4

鳥羽第一野球スポーツ少年団は、1979年（昭和54年）に設立されました。

このスポーツ少年団は、鳥羽小学校の児童であれば1年生から入部でき、現在は2年生から6年生までの19人が所属、中には女子部員も一人います。

練習は、水曜日の放課後と土曜・日曜日、祝日を中心に鳥羽中央公園多目的グラウンドなどで行っています。来年からは新鳥羽小学校が完成し、自分たちのグラウンドで練習ができることもあり、キャプテンの木田隼弥くん（小5）は、「来年こそは、今年果たせなかった県大会出場を目指して頑張ります」と、力強く語ってくれました。

鳥羽第一野球スポーツ少年団では、「野球の楽しさを知ってもらい、高校まで野球を続けてほしい」ということを指導の基本としており、指導者のかたは「いつかは、このチームから高校野球やプロ野球で活躍する選手が出てくれることを期待しています」と話してくれました。